

～いっしょにあそびましょう～

《ハートぽっぽ柏尾》



毎月第三水曜日 10:00～11:30
 柏尾小学校コミュニティハウスにて
 対象：柏尾町・上柏尾町にお住まいの
 1歳以上～就園前の子どもと保護者



こいのぼり作り



シャボン玉とぼさう



七夕かざり



水あそび

ハートぽっぽ柏尾年間予定

- 4月 こいのぼり作り
- 5月 シャボン玉とぼさう
- 6月 七夕かざり
- 7月 水あそび
- 8月 水あそび
- 9月 ペタペタペタン みんなでお絵かき

- 10月 小麦粉ねんど
- 11月 風船バレー
- 12月 クリスマス人形劇
- 1月 おにのお面作り
- 2月 おひなさま作り
- 3月 作ってあそぼう



手あそび



ハートぽっぽ 特別企画 ジャガイモ掘り



みんなで遊ぼう 舞岡中学校にて

主任児童委員の主な役割は、お母さんのお腹の中にいる時から18歳までの子どもの問題に携わり、問題を抱えた子どもやその家庭を小中学校と連携を取りながら必要な公的関連機関に繋げることです。

日頃より子どもの様子を把握する為に、小中学校の行事に出席したり、専任教諭との情報交換をしています。

また、中学校区の3地区社協と共に「みんなで遊ぼう」や「子供フェスティバル」も毎年開催しています。

柏尾地区でも若い子育て中の親子の交流の場を提供し、孤立しがちな親子を地域と繋げることを目的に「ハートぽっぽ柏尾」を、主任児童委員2名を中心に民生児童委員と共に開催しています。

これらの事業こそ虐待防止に繋がる大切な活動なのです。柏尾地区の子供たちの健やかな成長の手助けができればいいなと思っています。

— 主任児童委員 赤崎しのぶ —

編集後記

～ 柏尾地区みんなでつむぐ「和」「話」「輪」～

柏尾地区社協は、子供達のがのびのびと遊べる環境作り、子育て支援、高齢者の見守りや交流の場作りなどの取り組みを通して、地域の人達が顔見知りになることで安心安全な地域環境ができるよう努力しています。私たちの活動を地域の皆様に知って頂き、この広報誌が地域の情報誌としてお役に立てばと願っています。

編集委員：宮本英雄、野尻恵美子、齋藤節子、赤崎しのぶ、秋山洋子

柏尾地区 社協だより

創刊号（平成25年9月22日）
 発行 柏尾地区社会福祉協議会
 会長 宮本 英雄

創刊に際して

柏尾地区社会福祉協議会
 会長 宮本 英雄



柏尾地区の社会福祉協議会（以下社協）は、平成2年設立の比較的歴史の浅い社協であり、当初は先輩社協の背中を見ながらの社協運営を行って参りました。

そのなか、設立9年目を迎えた頃、暫時運営の停滞が生じはしたものの、連合をはじめ協議会員諸氏の協力を得、運営の正常化を果たすことが出来、今では団体個人合わせて32の大所帯の社協となりました。

加えて、今年度より発行の連合広報部向けのミニコミ「事務局便り」により、より社協活動を知って頂き、今般、広報誌の創刊により地区全体に於いて、より深い理解を得るものと確信している次第です。

柏尾地区社協広報誌 発行にあたり

柏尾地区連合町内会
 会長 瀬田正一



今回「社協広報誌」を発行されることをお聞きし大変うれしく思います。近年急激に高齢化の問題、また、子どもの問題、色々と課題が多くなって対応が大変なことと思います。

今後、広報誌によって各町内会の課題、問題等を早く知り地域と社協が共に協力できる範囲で頑張っていけば、益々、助け合いのある街になっていくと思います。

最後に社協に係わっている皆様、休む暇もなく活動して頂き本当に有難うございます。お身体には気をつけて活動をお願いします。

柏尾地区社会福祉協議会 会員

相談役	矢弓 進	連合相談役	協議会員	原田勝美	地区老人会
会長	宮本英雄	東戸塚M会長 民生児童委員	協議会員	齋藤光雄	スポーツ 推進委員
副会長	瀬田正一	柏尾台会長	協議会員	峯美枝子	婦人部会
副会長	遠峯 隆	柏陽台会長	協議会員	片山類子	保健活動推進員
理事	齋藤純一	柏尾会長	協議会員	宮川友子	消費生活推進員
理事	綿貫純一	上柏尾会長	協議会員	稲垣安子	民生児童委員
理事	金子昭芳	東戸塚G会長	協議会員	齋藤節子	民生児童委員
理事	池原昌平	富士見台会長	協議会員	戸谷尚子	民生児童委員
理事	芝崎雅俊	優彩の街会長	協議会員	川口芳枝	民生児童委員
理事	関口直美	県営柏尾会長	協議会員	小野寺久子	民生児童委員
事務局長	秋山洋子	民生児童委員	協議会員	熊谷将宏	民生児童委員
会計	野尻恵美子	民生児童委員	協議会員	赤崎しのぶ	主任児童委員
会計	渡辺利通	子供会育成会	協議会員	飯田裕子	主任児童委員
監事	土屋義一	老人会	協議会員	舞岡柏尾地域ケアプラザ	
監事	新倉道子	民生児童委員	協議会員	柏尾小学校コミュニティハウス	
協議会員	団野博文	青少年指導員	協議会員	柏尾小学校	



平成25年度柏尾地区社協総会
 4月7日（日）



柏尾地区さわやかウォーク
 (柏尾連合と共催)5月12日(日)
 「柏尾から始まる戸塚宿」

柏尾地区社会福祉協議会研修旅行 福島へ 7/6~7

- 7月6日(土); 柏尾発→東北自動車道→磐越自動車道→磐梯河東そばさだ(昼食)→五色沼・桧原湖見学→磐梯吾妻スカイライン→穴原温泉着(山房月の瀬泊)
- 7月7日(日); 穴原温泉発→〔相馬市〕相馬市役所→災害公営住宅(長屋タイプ)→災害公営住宅(戸建タイプ)→相馬光陽サッカー場→天皇陛下・ブータン国王黙礼地点(原釜尾浜地区)→漁具倉庫付き作業場→松川浦 たこ八(昼食)・海鮮市場→相馬市役所→常磐自動車道→柏尾着



相馬市の被災地視察では、市役所の横山英彦さんに案内していただき、災害の規模や当時の様子、その後の復興に向けての取組み等について説明を受けました。

研修費用の中から1万円、震災お見舞いとしてしました。(相馬市教育復興子育て基金として)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

社協研修旅行を振り返って

— 民生児童委員協議会 会長 稲垣安子 —

この度の社協研修旅行は、協議会員として参加するのは最後と思いながら家を出ました。研修旅行の度に打合せや買物の準備に参加して来た事が、懐かしく思い出されました。

何よりも運転手さんの安全第一の心遣いで、車中はとても快適でした。優彩の街自治会長さんのご配慮で、相馬市役所職員の方が休日にも拘らず、バスに同乗して被災地域を説明しながら廻って下さいました。優しい語り口でしたが内に秘めたやりきれない思いが伝わってきて、被災当日のそれはそれは凄まじい映像が頭を過ぎり、何とも切ない気持ちになりました。明るい兆しも見え、地域にマッチしたモダンな公営住宅が建設されるなど確実に前に進んでいる様でした。

私事ですが、7月半ばに偶然「東北を食べようキャンペーン用紙」が届き、3.11を忘れないための何かの縁と思い、信用出来るか確認の上7月からお米の定期購入を始めました。少しでも長く続けたいと思います。

楽しく有意義な研修会を有難うございました。柏尾地区社協の益々のご活躍をお祈りいたします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

大人と子どものインディアカ大会

— 青少年指導員 団野博文 —

柏尾地区でのインディアカ競技の普及は「柏尾地区の文化」と呼べるくらい地域に定着してきたと自負しています。

インディアカとは25cmくらいの羽を手で打つバレーボールに似た競技で、「ヨコハマさわやかスポーツ」として推奨されています。

柏尾地区では小中学生が対象の「少年少女スポーツ大会」で



大人のインディアカ大会
6月30日(日)

取り上げるとともに、犯罪や非行防止を地域から推進する「社会を明るくする運動」の一環として実施しています。

子ども達がインディアカを練習する中で、保護者・地域からの要望で、2001年に中学生以上が対象の「大人のインディアカ大会」開催に至り、本年は54チームの参加で大盛況でした。体育館での練習風景は、正に地域住民の交流の場としての役割を果たしています。

(連合との共催行事、いずれも柏尾小学校体育館にて)

柏尾地区 春の昼食会

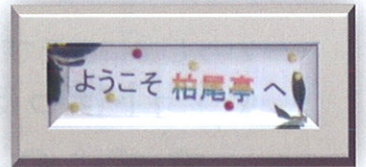
5月28日(火) 柏尾町内会館にて、一人暮らしの高齢者を対象にした、春の昼食会(柏尾亭)を開催しました。



たくさんの野菜を煮込んだキーマカレー、野菜を蒸して作った温野菜サラダ、薄味に仕上げた煮物、そしてデザート(果物)、皆さんに美味しいと喜んでいただきました。

食事の後は、手足を動かしてのゲームや歌遊び、言葉当てクイズなど楽しみました。そして、お茶とお菓子で一服した後、歌集を見てリクエスト、宮本さんの伴奏で歌ったり笑ったり、楽しいひと時を過ごしました。

戸塚区社会福祉協議会の山中さん、舞岡柏尾地域ケアプラザの尾形さん、連合町内会長の瀬田さんも参加してくださいました。(55名参加)



民生児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、婦人部会、子ども会育成会ほかボランティアの方々と、食事作りや会場作りをしました。昼食会は、年2回春と秋に行っています。

お楽しみ会

おおむね65歳以上の高齢者の交流の場として、サロン形式で年4回開催しています。民生児童委員、主任児童委員が、皆様に楽しんでいただけるよう、工夫をしながら行っています。

第31回お楽しみ会(平成25年度第1回)

4月18日(木) 13:30~15:30 柏陽台集会所

「フラワーアレンジメント」を齋藤節子(喜節)さんに教えていただきました。参加者の皆さんは、どこに飾ろうかなと自分の作品を仕上げながら楽しそうでした。

お茶の後は歌集を見てリクエスト。野尻さんの伴奏で何曲も歌いました。

区社協から松元さんと山中さん、地域ケアプラザから唐崎さんが参加してくださいました。(52名参加)



第32回お楽しみ会(平成25年度第2回)

6月19日(水) 13:30~15:30 柏陽台集会所

消費生活推進員の方にご協力いただき、横浜市消費生活総合センターから講師をお呼びして講演会を行いました。

悪質商法について、講師の永野先生のお話はとても分かりやすく、皆さん熱心にメモを取りながら聞き入っていました。

頭を使った後はリラックス。宮本さんの伴奏で楽しく歌いました。

区社協の山中さん、地域ケアプラザの三輪さん、消費生活推進員7名も参加してくださいました。

(41名参加)

